

熱中症警戒アラート発表に関する対応について(2025年版)

当協会では例年、気温が高くなる8月を中心に公式戦などの試合開催を回避しておりましたが、年々高温傾向が高まり、6月に入ってから30°Cを超える真夏日が連日続いていて、今まで以上に熱中症予防の対応を迫られる状況になっております。

環境省と気象庁が、前日の17時と当日の朝5時に「暑さ指数(WBGT)」33以上が予想されると「熱中症警戒アラート」が発表される様になりましたが、昨年「暑さ指数」35に達する場合、「熱中症**特別**警戒アラート」を発令するようになり、暑さに対する警戒がなお一層必要になりました。

東京地方は7月5日に翌6日の「熱中症警戒アラート」が今年初めて発表されました。

前述のように試合開催について判断する指標ができましたので、「熱中症警戒アラート」の発表に応じて各カテゴリーでは以下の対応をとることとなりました。ご理解の程、宜しくお願いいたします。

記

【一般部】

①今年、7月・8月はリーグ戦などの試合を開催しません。

それ以外の期間は、

②試合前日の17時時点で翌日の「熱中症警戒アラート」が発表された場合は、翌日の試合を中止する。

③当日の朝5時に「熱中症警戒アラート」が発表された時は、その日の試合を中止する。

※以上が基本的な対応ですが、「アラート」が発表されていない場合でも最終的な判断は事務局が決定しますので、自己判断はせず、必ず確認をして下さい。

※9月初旬のリーグ戦については今年の暑さの様子をみて、試合を組むかどうかを7月下旬に判断します。

【シニア部】

8月は試合開催をしません、7月は年間の試合計画により7月6日のみ開催を予定しています。

(前述の様に7月6日は「熱中症警戒アラート」が発表されましたので、中止します)

7月・8月以外も試合開催の場合は、飲水タイムやクーリングブレイクなどの対応をとって、熱中症予防に注意する。それ以外は、一般部の②③と同じ対応をとる。

【ジュニア部】

基本的に7月・8月は公式戦を開催しません、試合消化が遅れている各リーグ戦のみ、7月・8月も開催予定です。(その場合も参加・不参加はチームの意向を尊重する)

前日または当日の朝、「熱中症警戒アラート」が発表された場合は試合を中止、又は開催する場合でも「飲水タイム」もしくは「クーリングブレイク」を必ず行い、熱中症には十分注意をする。

WBGT 値 25℃以上(人工芝 22℃以上)＝飲水タイム (30 秒～1 分程度)

WBGT 値 28℃以上(人工芝 25℃以上)＝クーリングブレイク (3 分)

※以上が基本的な対応ですが、試合開催の有無も含めて最終的な判断は事務局が決定しますので、自己判断はせず必ず確認をして下さい。

【その他のカテゴリー】

その都度それぞれのカテゴリーで判断し、参加者に通知いたしますので、不明な場合はお問合せ下さい。

【グラウンドの使用について】

先日スポーツ振興課より通知があり、「熱中症**特別**警戒アラート」が発表された場合、屋外施設の使用を中止する旨、ありました。

その場合はグラウンドの使用を中止しますので、併せてご理解・ご協力の程宜しくお願いいたします。

以上